

地域に根付く、ふれあいの輪と和

坂井市立三国西小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会(教員)	2回
地域及び学校への学校公開	10回(10日)

(2) 地域人材の活用(のべ人数…人数×回数)

講師：ゲストティーチャー 3人(のべ20人)
 ○お茶の先生
 お茶クラブ(月2回) 6年生お茶体験(年1回)
 ○三里浜特産農協の方
 ふるさと学習講師「らっきょう掘り」「らっきょう植え」「らっきょう切り」
 読み聞かせボランティア8人(のべ124人)
 朗読会3人(のべ6人)
 登下校支援ボランティア
 ・車両見守り隊…登録人数8人
 ・各地区のバス停で保護者が安全見守り

(3) 特色ある活動

テーマ

「らっきょう大好き、ふるさと大好き」
 ～西小ふるさと教育の推進～

(4) ふるさと教育の具体的活動内容

本校は、砂地の農地に囲まれており、農作物の種まき・植え付けや収穫を目にすることが多いが、児童が実際に土に触れる機会は減っているそこで、ふるさとの特産物「らっきょう」の栽培を本校の特色ある活動として行っている。

三里浜特産の「花らっきょう」を、地域の方の土地をお借りして栽培している。学校隣接の“西っ子ファーム”である。収穫、植え付け、らっきょう切りの活動では、地元の三里浜特産農協の方をゲストティーチャーとして招き、指導していただいている。

収穫と植え付けは3・4年生が行い、包丁を使うらっきょう切りは5・6年生が行っている。1・2年生は、この農地で「さつまいも」の栽培をし、全学年が“西っ子ファーム”で生産体験活動を行っている。



らっきょう切り
 (協力：三里浜特産農協)

(5) 成果と課題

〈成果〉らっきょうの栽培や収穫、らっきょう切り等について昨年度見直しを行い、計画的に、また安全に配慮した形で継続して行うようにした。

栽培しているのは「3年子」の花らっきょうで、植え付けから収穫まで3年かかる。そのため、農地を計画的に活用して栽培し、毎年、植え付けと収穫を行うようにした。らっきょう切りは包丁を使い危険が伴う。そのため、切り方の事前指導を行い、場所を野外のテントから体育館に変えブルーシートを敷き、短い時間で集中して行うようにした。

〈課題〉本校の特色ある活動だが、畑の草取りをこまめにする必要がある。担当が替わったとき、その引継ぎがうまくいかなく、雑草が生えすぎたときがあった。校内での引継ぎをうまくし、また地域の三里浜特産農協とも連絡を密に、地域の有効な資源として連携し、「ふるさとを大好き」な子ども達を育てる活動を継続していきたい。



らっきょう畑の草取り